

世界最悪の大気汚染都市はインドのニューデリー 東京の汚染度は一番低い

2015年12月25日
朝日新聞

東京(千代田区)のPM2.5は世界の主要都市、ニューヨーク、ロンドン、ベルリン、バンコク、ソウル、北京、アブダビ、ニューデリー等と比較すると一番少ない(2014年のWHO統計から。単位はマイクログラム/m³)。

日本のマスコミでは中国北京の大気汚染状況が報道されていますが、世界最悪の都市はインドの首都ニューデリーです。北京よりもっと悪いのです。大気汚染と健康被害の原因となる微小粒子状物質(PM2.5)のニューデリーの年間平均値は日本の基準の10倍を超える1立方mあたり153マイクログラムです。呼吸器科に通う患者はここ5年で約3倍になっているそうです。

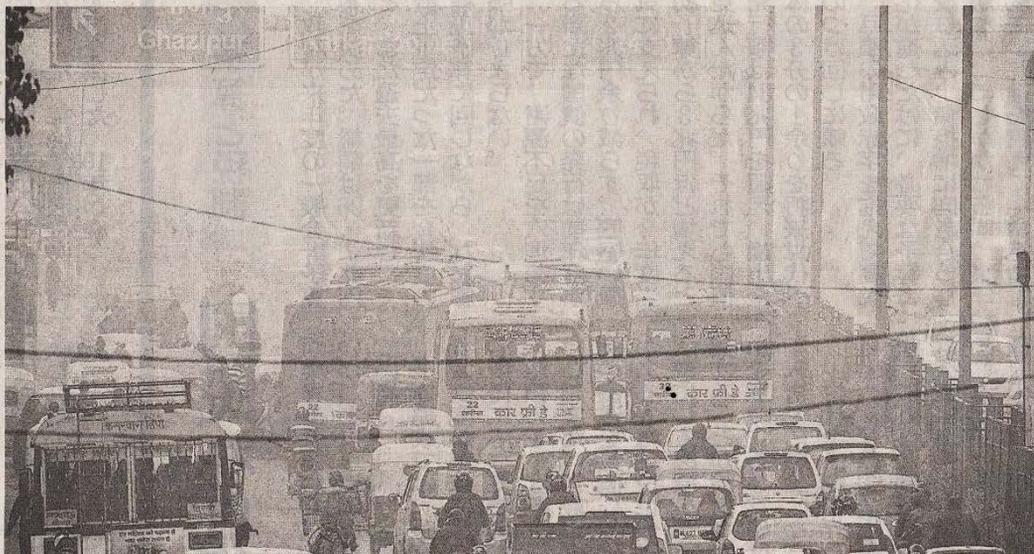
インドの当局や裁判所はマイカー規制などを相次いで打ち出しているがなかなか解決しません。汚染の主な原因は、気温の下がる11~2月の間に、周辺の農村部で広範囲に行われる野焼の煙や、年々増える自動車の排ガスです。更にこの時期には、調理や暖房などで木材や固形燃料の消費も増えます。風が弱まり、空気が滞留しがちなのも大気汚染の要因とみられる。

ニューデリー	153
アブダビ	64
北京	56
ソウル	22
バンコク	20
ベルリン	20
ロンドン	16
ニューヨーク	14
東京(千代田区)	10

からWHOの2014年の統計
単位はマイクログラム/m³

インド PM2.5対策躍起

ニューデリーにあるバスターミナル近くの道路は18日、大気汚染でかすんでいたA F P時事



首都、世界最悪
車通行

市民、年1~3万人死亡報告

大気汚
よると、
局や裁判
だ。環境